



海洋土木

建築

国内から国外まで
活躍のフィールドは

無限大

陸上土木

海外

北九州若松で創業した会社



WAKACHIKU

若築建設株式会社

若築建設は、北九州若松港の築造・運営を目的として、1890(明治23)年に創業し、2025年に135周年を迎えます。

当社はこれまで、海洋土木事業のパイオニアとして港湾、空港建設の大プロジェクトに携わりながら、陸上、建築、海外工事と事業範囲を拡大し、「『品質と安全』を核とした施工により、お客様の信頼を高め、社会に貢献する。」を経営方針として事業に邁進してまいりました。

当社創業に尽力した「渋沢栄一」



若松港はかつて国内最大の石炭積出港として、日本の近代化に貢献しました。その開発を担った若松築港株式会社(現・若築建設)は、筑豊炭田から採掘された石炭の積出港として開発・運営することを目的に1890年に創業し、福岡県知事の認可を得て若松港の改良工事を行いました。これはPFI事業*の先駆けです。発起人として地元の有力者が集まり、東京や大阪の事業家も株主として支援しました。しかし、不況の煽りを食い、当初計画されていた株式募集は困難を極め、翌年には経営の危機に瀕していました。この時、当社初代社長・石野寛平を救ったのが、「近代日本経済の父」と称される渋沢栄一です。

実業家として株式会社組織による企業の創設・育成に力を入れていた渋沢は、1892年に経営危機打開のため上京した石野に、当社事業に賛同し、株主に加わり相談役に就任することを承諾しました。相談役となった渋沢は東京で、拡張計画に関する大株主の意見の取りまとめや、増資に関する株主募集、さらには融資に関する支援を行うなど、多くの賛同者を得ることに尽力しました。

* PFI事業…公共事業を実施するための手法の一つ。民間の資金と経営能力・技術力を活用し、公共施設などの設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法。PFIはPrivate Finance Initiativeの略。



初代社長 石野 寛平

渋沢 栄一

若き感性、築いた伝統。



その風は、海から生まれた。そして、空を駆けるように、
道を繋ぐように、街と暮らしを動かし、物語を紡いだ。
海洋土木から始まった私たちの「ものづくり」の歴史は
いま、世界をフィールドに、次のステージへ羽ばたこうとしている。
この先もずっと、社会を支え続けるために、
人々に幸せを届けるために。
サステナビリティの追求と
カーボンマネジメントの取り組みを強化しながら、
さあ、次の夢をかたちにしていこう。



WAKACHIKU

〒153-0064 東京都目黒区下目黒 2-23-18

TEL.03-3492-0271 FAX.03-3490-1019

若築建設

www.wakachiku.co.jp